

# 漁海況情報第10報 (2019年2月25日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

## 1. 海況

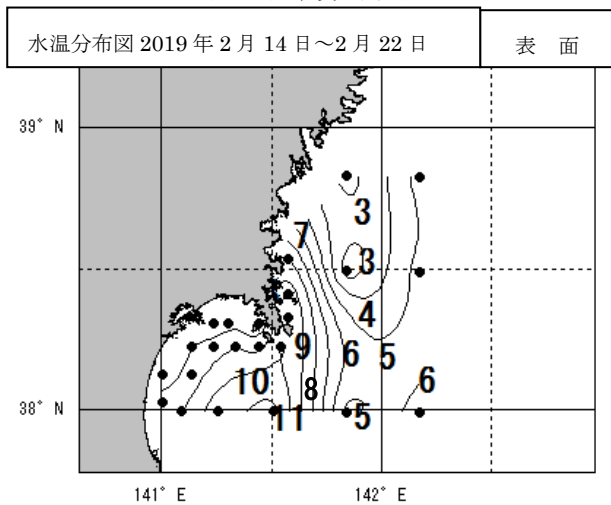
### 冷水の南下により、沿岸水温が低下しています。

宮城県沿岸の表面水温は2～11℃台、100m深水温は4～10℃台となっています。冷水が南下しており、表層水温は38° 30′ N以北では最大5℃、平年より低くなっています [P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。鉛直断面図からは、38° 30′ N以北で表層の水温が低下しているのが見て取れます [P2. 水温鉛直断面図]。

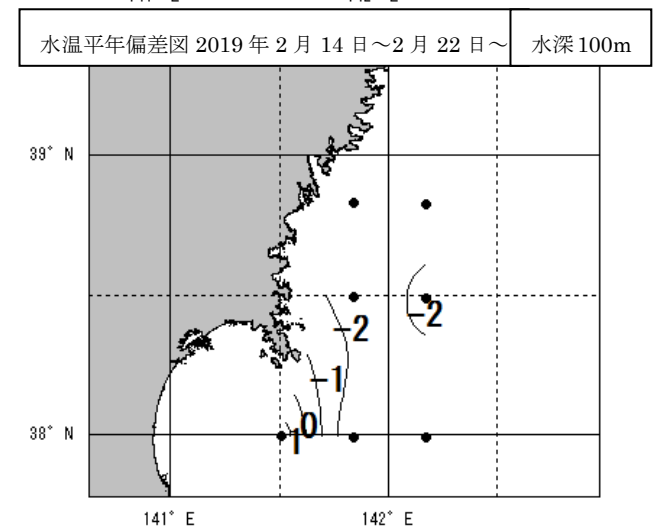
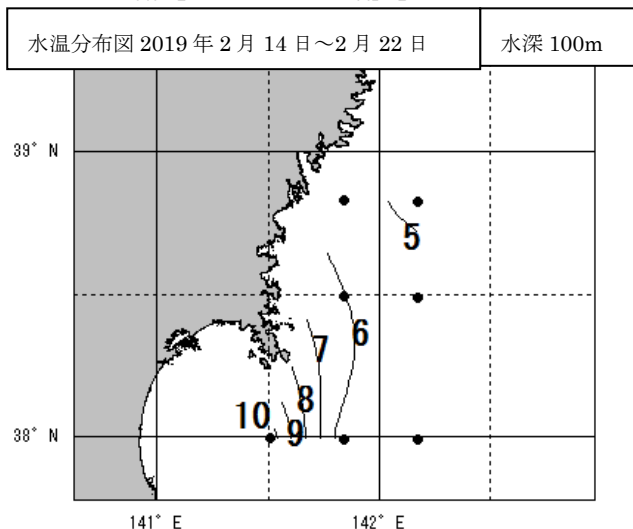
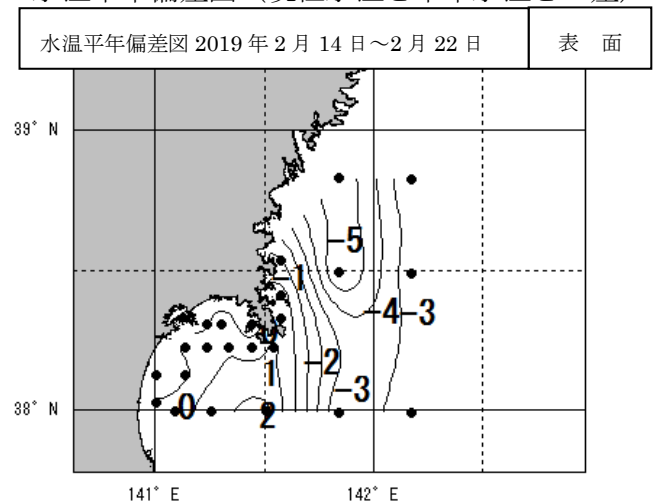
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝が田老～大船渡に接岸する一方で暖水の北上が見られます [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

2月中旬の定地水温は4～10℃台で、江島で高め、歌津・田代島・亶理でやや高めとなっています。参考値として、2月21日以降は冷水南下の影響を受ける気仙沼・歌津・江島では低下傾向となりましたが、桂島・亶理では上昇しています [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は5～10℃台です [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図

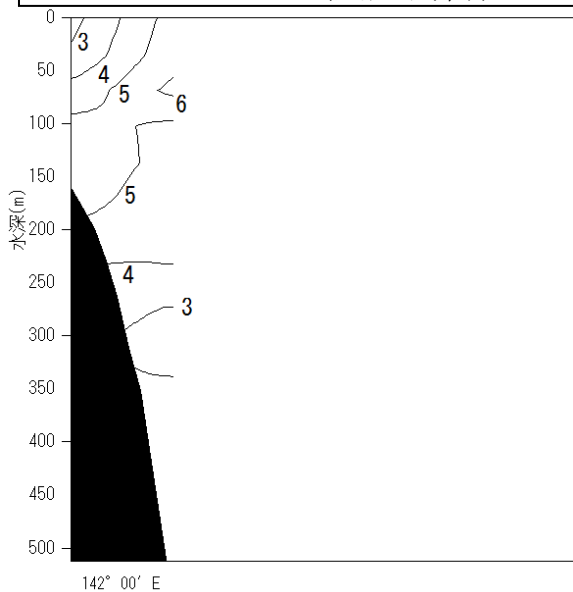


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

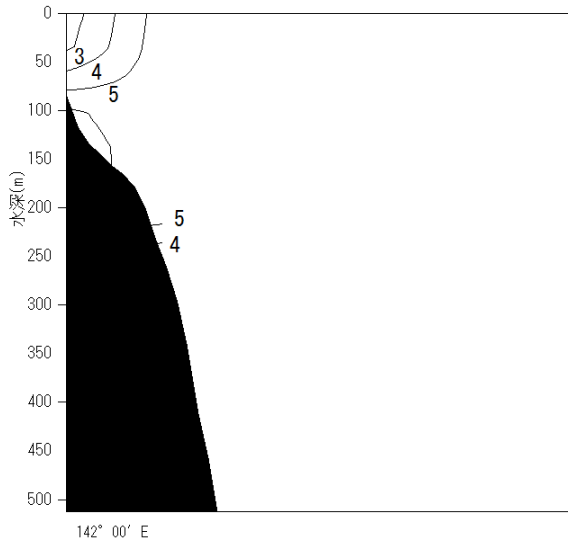


・水温鉛直断面図

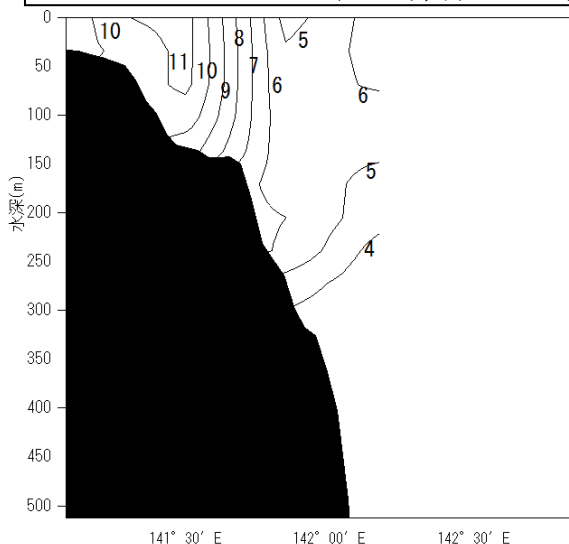
38° 50' N ライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' N ライン (雄勝沖合ライン)

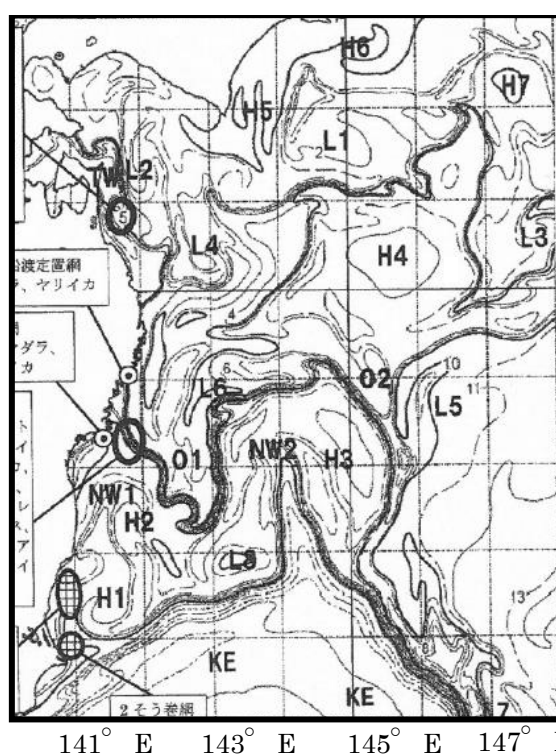


38° 00' N ライン (亶理沖合ライン)



2019年2月14日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

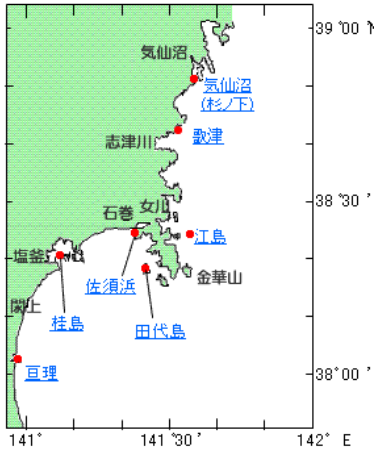
【海況】 (2月14日表面水温)

- ・親潮第一分枝は田老～大船渡に接岸，北上暖水の東側を富岡沖まで南下。
- ・第二分枝は暖水渦の東側 146° E 付近を南下し冷水域を形成。
- ・津軽暖流が下北～黒崎の沿岸を南下。
- ・黒潮続流は房総沖を東進。
- ・茨城～宮城沖 30 海里付近を 10～15℃ 台の暖水が北上，暖水渦を形成。
- ・田老～大船渡 3℃ 台，気仙沼～女川 7～9℃，金華山～九十九里 10～12℃。

【漁況】 (2月12日～14日)

- ・まき網：茨城沖でマサバ主体にマイワシ，イナダ漁獲。まき網マサバの粗脂肪量は 350～500g の中型魚が 17% を維持しているが 500g 以上の大型魚では減少傾向。
- ・定置網：石巻はマイワシ，大船渡はマダラ主体。
- ・イカ：石巻の釣りりと底曳網がヤリイカ主体に水揚げ。
- ・カツオ竿釣り：20～26° N で操業，漁獲は上向だが 0～1 トリ/隻・日の少量漁獲が多い。
- ・カタクチイワシ漁獲：2010 年から減少が続いています。

・定地海洋観測



	2月中旬		平年差	前年差	2月21~25日
気仙沼(杉ノ下)	6.7	平年並み	-0.4	-0.3	5.5
歌津	8.6	やや高め	1.4	0.4	8.0
江島	10.0	高め	2.0	1.0	8.7
田代島	8.3	やや高め	1.4	2.0	7.9
佐須浜	7.1	平年並み	0.6	1.0	7.7
桂島	4.2	平年並み	-0.3	0.0	6.5
巨理	7.4	やや高め	1.0	1.0	8.7

※平年値

岩井崎(過去30年)

江島(過去30年)

佐須浜(過去10年)

歌津(平成28年12月から観測再開)

桂島(平成24年3月から観測開始)

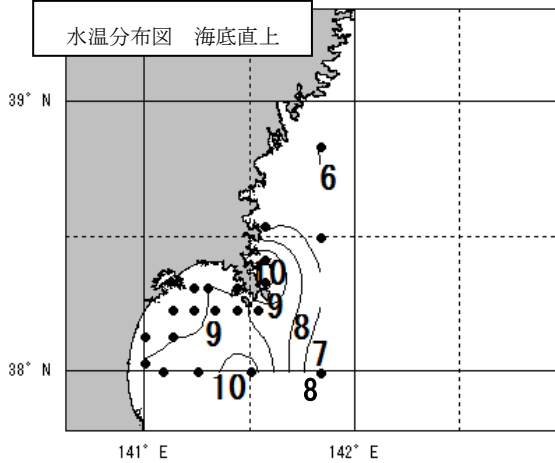
巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は,

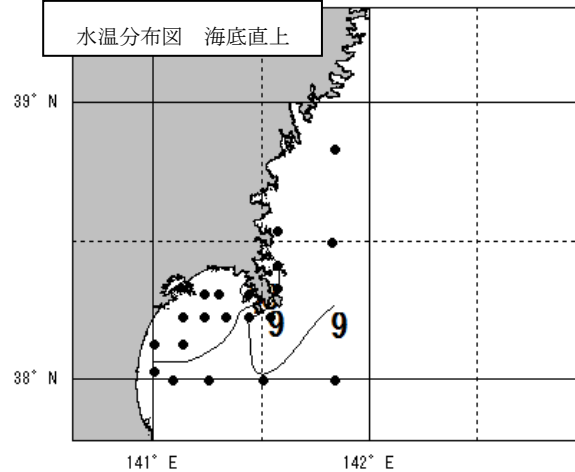
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2019年2月14日~2月22日)



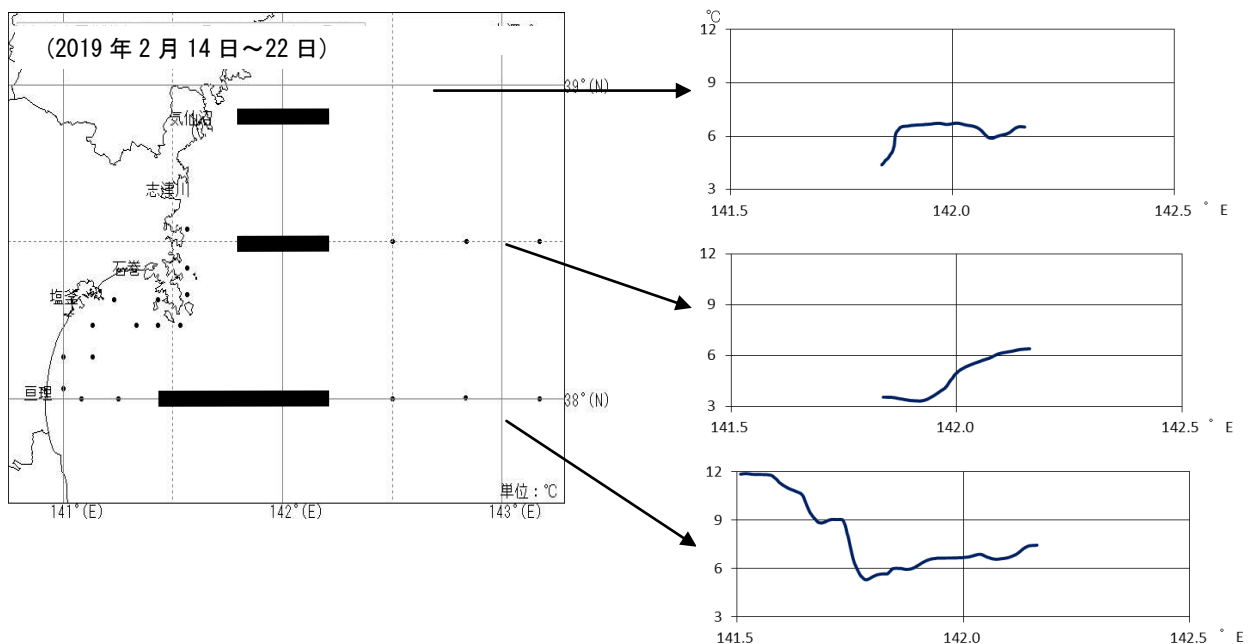
・海底直上水温(2018年1月29日~2月16日)



(※観測水深は500mまでです)

2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



### 3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」による流向流速情報は、機器不調のため欠測となりました。

### 4. 漁況

1月の水揚量は前年と比較して、ビンナガ、スルメイカ、ヤリイカ、マダラなどが増加しています。ブリ、ガザミ、スケトウダラ等の水揚げは減少しています。

2019年1月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ									256	0	15	271	124%
メバチ					0				94		2	96	75%
マアジ	0	0	0			2	0				3	2	1291%
サバ類	997	6	6649			97	29				9	7788	68%
ブリ	0	0				7	1				2	10	12%
ヒラメ	6	8	0			1	8				3	26	123%
マコガレイ	0	8	0			0	12				15	36	92%
マガレイ		1	0			0	4				0	6	97%
スルメイカ	45	5	0			2	0	0			0	52	144%
ヤリイカ	318	38	1			14	0	2			1	374	110%
マイワシ	0	0	528			2168	0				8	2704	77%
マダラ	336	50	0			164	117		2		156	826	113%
スケトウダラ	49	10	0			4	9		0		4	76	57%
ガザミ		1					2				0	4	30%

(単位：トン)

### 5. 調査船運航計画

<b>みやしお</b>	
2月27日	オキアミ調査
<b>開洋</b>	
2月27日	オキアミ調査